

# 再生

師友道友の活動を綴る善行伝承誌

真人と真人が結ばれねばならぬ。

現在わたくしが最も努力しているのは、

縁のある真人同士を結ぶことです。

森信三先生一語千鈞より

再生の題字（森迪彦様提供）は、森信三先生の直筆です。



第0065号

2022. 1月号

令和四年

実践人福岡仁風読書会

# 現代における孝の哲理

森 信三先生 講述

— マナコを閉じて親の祈り心を —

十四 孝はまことと真実の発現である

まこと・真実

そこで元へ還って、「この世において、金銭以上に異議あり価値あるものは一体何か」と言う問題を突き止めなければならぬが、それは厳しく申したら、結局地位とか名誉とか、内示は権力などと言うものでもないようであります。

では、それは一体何かと問われたとしたら、結局は「人間」そのものであり、深く「人間」そのものに根ざしたものであるべきでしょう。さらには「人間」そのものに本来具っている処の真内面的なネウチであるとも申すほかないでしょう。そしてそれは古来「まこと」といわれ、又「誠」とか至誠という文字で表現せられて来たものであります。しかし「誠」と言くと、一人の人間の「真実」と言うだけでなく、そこには宇宙的心理ともいふべき色合があるとも申せましよう。随ってそれは、もし現代的ないい方をすれば「まこと」とかさらには「真実」という方が、若い皆さん方には、ピッタリするかと思われまします。

ではそつした立場に立って、ひるがえってこの「孝」とはどういうことかと申しますと、結局は親に対して「真実」をつくし「まこと」を尽すといつことと他ならぬでしょう。そしてそれは実際問題としては、結局親に対して「自分」の要求を第一にしないで、まず親の考えなり要求を生かすことを第一にすると言ふ事でもありません。これは最初は実に苦しいこと、否、つらいことであり、人によっては「死ぬ」ほどつらいこととも思われましよう。しかしながら、一旦

「死んだ」つもりでそこを突破して、親の「お願い」の真唯中にわが身を投げ入れますと、不思議とそこから、これまでついぞ思いもなかった新しい人生の一道が開かれて来ましよう。それは古来宗教で「死してよみがえる」と云われて来たものが、親を対象として自己の「我」を放棄する事によって開かれるのであります。



実践人福岡仁風読書会 第61回 12月4日(土)

場所：福岡市博多区大井2丁目 大井中央公園にて

(実践人の家の会員であればどなたでも参加できます。)

(参加費無料) 詳細は、世話人へお問い合わせください。

## 教師になるまで

いかなる星の下に、私は生まれてきたのであろうか。

父は村の鍛冶屋だった。それこそ「村の鍛冶屋」の歌そっくりの正直一途で無類の働き者だった。朝は三時か遅くとも四時には起きて、夜明け前のしじまに、鈍音高く働くことがただ一つの自慢かのようにさえ思われた。長男に生まれた私は、一日も早く成長して、父の後を継いで鍛冶屋になることがまたれていた。

母は愛情一本の優しい人であったが胆石病の持病があり、病床に苦しむ姿や薬取りにやるせない思いで医者に通ったことなどが、今も悲しく思い出される。

私ども兄弟もみな身体が弱かった。私の学籍簿にも「自体が弱く遠足など世話がやけるし、少しくわしく訊ねるとすぐ涙ぐむ風がある。」と書いてあるくらいで、身体も弱く気も弱かった。それに、どうしたとか、何をやるにも不器用で、友達との遊びも負けてばかりいて、外に出ることが嫌になり、家に引籠ることが多かった。気の弱いことも手伝って、無口で消極的で社会性のない子になっていった。ただ、短い距離を走ることが友人より少し速く、家にはばかり居るためか、二つ年上の姉の教科書を読んだり、書いたりしていたことの二つが、私と言う人間を創っていく二本の柱になったと言えるのではないかと感謝している。

尋常科六年を卒業する頃、裕福な家庭の友人が、中学校の受験準備をしている姿を見て私も無性に勉強がしたくしょうがなかった。母が病身のため、働いても働いても、貧しさから脱け出られない父の事を思うと、高等小学校二ヶ年で、父の手伝いをするのが当然だと思っていた私も、遂に思いついて中学受験を願いだしたが、もちろん許してくれる筈がない。私はあれやこれや小さい胸を痛めたあげく、二年までやって貰えれば、あとは、父の手伝いをするので、漸く許しを得た。その時父が、「成績が二十番目までなら続けてやる。」と言ったが、二年を終る頃、二十一番目だった。それで私もあきらめねばならなかったが、

此の時はわずか一人の違いであるためか、父の方から三年への進学を許して呉れた。

それでも、病身の母を抱え苦労を重ねている父のことを考えると勉強一途にすすむ気にもなれなず、中途半端な気持ちでやっているうちに三年の終りにも退学の話が出たが、多少成績も上ってきていたので、担任の先生が父と相談されて沙汰止みとなった。四年の二学期の終り方、遂に父は過労のためか、心臓や血圧に異常があることを医師から宣告された。私もこの時は愈々学校を退めて父の手伝いをする決心を固めて、学校に申し出た。その頃、私は友人からスパイクを貰ったので、全盛の陸上競技部にも入って走巾跳の選手をしていたが、成績の方もトップクラスに入っていたので先生方が大へん惜しんで下さって、代る代る自宅に來られて学校を続けるよう父に頼んで下さった。先生方の中には、学資も負担してやろうとおっしゃる方も二人も居られたが私は既に父とまっ黒になって鍛冶屋をやって居る、再び学校続ける気持ちはなかったが、先生方は、「せめて四年だけは終わっておくがよい。」と極力進めて下さって父も折れ、私も思いなおして、「一学期末の試験を受け、三学期も学校に行き、四年終了で正式に中途退学をした。」

こうなると、父の病気のこともあり、一日も早く仕事を覚えねばならない。父も私も必死になって仕事を仕込んでもらった。その甲斐があつて、それから二年も経つ頃には、あらかた仕事も覚え、父も母も喜び、今一息というところまでこぎつけた。

その時、蹄鉄工の国家試験が、東京と福岡で五月にあることを知り、父は絶好の機会だから、此の際は非受験するようというのでその準備にあわてて取りかかったのが丁度二月だった。朝は三時頃から起き出して顔を洗うことさえしないで仕事場にかきこみ、馬の古鉄を折りたたんで新品に更生することを練習し、夜は夜で、おそくまで学科試験のための勉強に励んだ。

## 第42回 福岡空港ミリオン清掃 12月4日(土曜日) 7名参加



鼻水が凍りそうなほどの極寒、誰なのか顔も分からない真っ暗闇の中、星空を見上げながらのラジオ体操で始った福岡空港清掃活動☆強烈な向かい風を受けながら、見えないゴミを探し出すという、心身ともに鍛えられるサバイバルなゴミ拾いでしたが、若いお2人のおかげで心はポッカポカ♡でした。お2人が入籍されるという至福の日に、一緒に清掃活動ができて嬉しい限りです。仲睦まじいお2人の姿が、明るく未来を照らしてくれます。掃除道と共に、自分たちの歴史を作っていくお2人を応援しながら、学び続けていきたいと思いました。いつもありがとうございます(^^)

MARIMARI

まだまだ真っ暗な内からお掃除仲間の皆さまが続々と集まってきます。朝の澄んだ空気に、明るい挨拶と爽やかな笑顔で雰囲気がガラッと変わります。毎週、皆さまとこうやって顔を合わせることができ有り難いです。公園内はほとんどゴミが落ちていませんでしたので、今日は道路際の落ち葉集めを行いました。強風の中、一人では難しい作業も皆で分担し連携して、あっという間に終わりました。皆で協力してお掃除をすると達成感も一段と感じれて良かったです。

また、今日は入籍のご報告をさせていただき、皆さまから祝福頂きまして思い出に残るお掃除となりました。とても嬉しく思います。ありがとうございました。これからも宜しくお願い致します。

HIROMITSU



日本一きれいな博多駅・福岡の街に！

第337回  
**博多駅 早朝清掃**

毎月**8**日 午前6時15分～

【第一回】平成5年12月8日開催

福岡実践人・JR九州博多駅  
精華女子高等学校・福岡掃除に学ぶ会

 **ハウスメイト**



第337回 博多駅早朝清掃

29年目・・・

12月8日(水曜日)

88名参加



本日は第337回博多駅早朝清掃を実施しました！今日から博多駅早朝清掃も29年目のスタートです！日本を美しくする会の利会長や田中顧問、博多駅長もご参加頂き末広りの88名で賑わいました！今年一年の表彰も行い、今年10回以上参加された高校生2名にも表彰状を贈りました！暗い中からのスタートでしたが、多くの落ち葉とゴミが集まり、今日も博多駅には清々しい風が吹きました！

HIROMITSU



博多駅 駅長



田中 顧問



利 会長

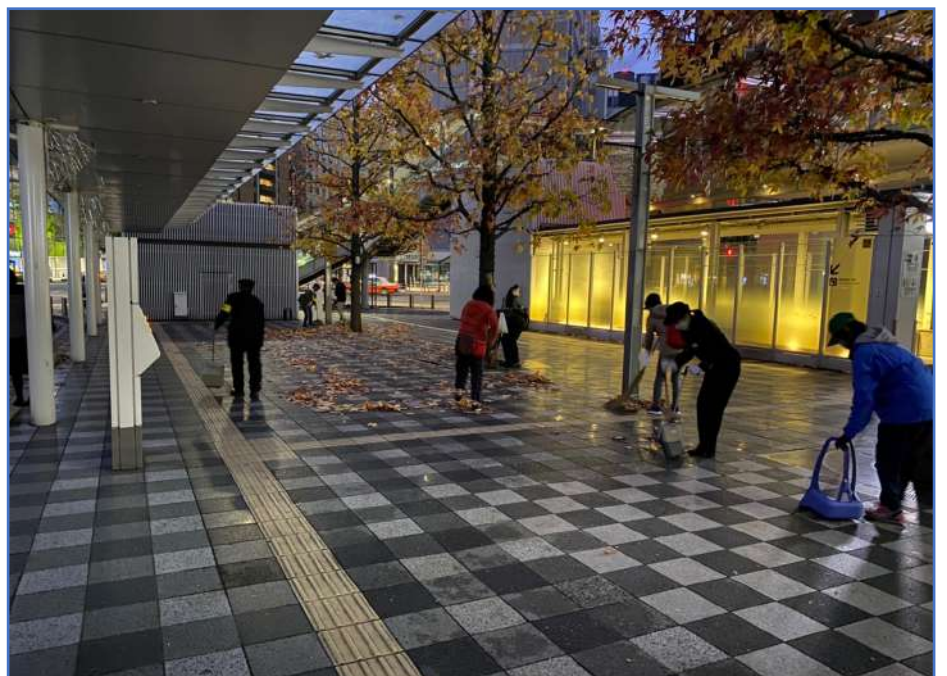


29年目の幕開けは、参加者88名という縁起の良い人数で始まりました(^ ^)  
 袈裟右衛門さんの「この落ち葉片付けよう！」の一声に、そろそろが思い思いの場所を掃き始めました。暫くすると、それぞれに掃いていたメンバーがいつの間にかまあるく繋がり、一つの大きな円となっていました。そして、だれが言ったわけでもないのに、自然と皆が中心に向かって枯葉を集めていきました。みんなが歩み寄りながら、リズムよく聞こえてくる『ザーッ、ザーッ』という箒で掃く音が、とっても愉快で子供の頃遊んでいた「かごめかごめ」や「はないちもんめ」を思い出してしまいました♡おかげさまで楽しい掃除の時間を過ごすことができました。いつもありがとうございます。

MARIMARI

本日、博多駅早朝清掃が29年目を迎えました。袈裟右衛門さんの掛け声のもと、参加されたみなさんがテキパキと動き、一面落ち葉でいっぱいだった広場が、もの見事にきれいになりました。一変した景色を見て、新しく生まれ変わったように感じました。不思議な体験です。長く続く中に、新しいことがある。とてもすがすがしいお掃除となりました。

TSURUGA



# 耕作放棄地再生と清爽活動in酒殿2020.12.29~

12月11日(土曜日)



夜明け前の駅前トイレに怪しげな光が3つ浮かんでいました！  
そのうちの2つは上下左右にふわりふわりふわりと動いています。  
なんだ？なんだ？と近寄ってみると。。。なんと、井さんと恵さんが頭につけているライトの光ではないですか！  
手にはゴミを入れた袋を持っています。みんなが来る前にゴミ拾いをしていたのです。  
若い2人のエネルギーは、ハンパありません！！微笑ましく心強いリーダーに感謝申し上げます。  
いつもありがとうございます(^^)

MARIMARI



井さん恵さんは早く来られて駅トイレの窓を外し、駅周辺のゴミを拾われていました。いつもながら素晴らしいおふたりです。私は小便器を掃除しました。表からは見えない内側のふちを擦るとザラザラ感がありません。酒殿駅トイレ掃除を始めた頃にはあんなに見えないザラザラ汚れがあったのに。積み重ねの大切さを感じました。袈裟右衛門さんには道具入れを一新頂き、また道具の替え時についてもご指導賜り、学ばせて頂きました！

酒殿駅世話人 TAHARA

# 令和を巡る早朝清掃／戒壇院 2020.1.25～

12月25日(土曜日) 第24回



今日は男子トイレの小便機を磨かせていただきました。一見、きれいに見える便器も奥の見えないところには頑固な汚れが溜まっていた。その部分を集中して磨いたのですが、完全には落ちずに次回へ持ち越しです。

便器を自分の心だと思うと、とても愛おしさを感じどうしても落とすようになりました。

袈裟右衛門さんが磨きながらポロツと言っていた「この汚れを落とさないと今日は一日気持ちよく過ごせない」という言葉が、やはり便器の汚れと心が繋がっているのかなと思い、一層便器磨きに集中して取り組みました。

皆様と一緒に早朝からお掃除をさせていただき、このご縁と時間は大変有り難く思います。

本日もありがとうございました。

HIROMITSU





# 株式会社SRC掃除研修

12月8日(水曜日)

日本を美しくする会 利会長 ご講話



## トイレ掃除

12月10日(金曜日)

12月17日(金曜日)

12月24日(金曜日)

1カ所範囲を決めて徹底して磨くことで次の汚れが見えてくる、徹底してすることが次に繋がると感じた、床を磨くことでトイレが明るくなって清々しい、道具の準備や環境に配慮したものを使うことが大切、などの感想がありました。率先して掃除する姿や自然と連携が取れることでチームワークもアップするよう感じました。

MEGUMI



# 遊休農地再生楽交の活動報告 NPO法人 楽農人 にんにくの成長記録

## ●2021.10.08～10 「楽農人啓恵ふぁーむ」 にんにく植付け



農友さんも応援に来てくれて皆で植付け！



約8,000個のニンニク植付け完了！

## ●2021.10.21～27 「楽農人啓恵ふぁーむ」 にんにく芽が出揃う



10.21 にんにくの芽が出始めました！



10.27 にんにくの芽が出揃いました！

## ●2021.10.21～27 「楽農人啓恵ふぁーむ」 にんにくバイオ散布



バイオを散布し微生物の活性化を促します！



除草剤などは使用しないので草取りが必要です！

# 生命の林と人生 六二、木の復権 IV

021-12

光然京カルデラ

対談 進行 高瀬 町長 宮崎 建築家 葉

森を見て「木を生かさす」

高瀬―木造のスタイルがそれぞれ違いますが、何か意図があるのですか。

宮崎―考え方は、葉さんがきつかけを作ってくれた。葉さんにずっと小国のトータルデザインを頼めば、きれいな街並みができるでしょう。しかし、私には整った景観より、楽しさと面白さがあった方がいい。その辺も、葉さんは理解してくれる。だから木魂館は桂英昭氏に、西里小学校は木島安史氏に依頼しました。

高瀬―それが生き生きとした木造に繋がっているのでしょうかね。

葉―それが町長の采配の妙でしょう。宮崎―先日、熊本県立劇場の館長としておられる鈴木健二氏が、日常塾（鈴木氏が主宰するサークル）のメンバーと小国に来た。その時、このような話をされた。自分は小国に来て、考え方を変えた。小国は自分のところの資源、人材を活用し、それらを生かして新しい展開をしている。外から持ってくるより、内部の潜在力を引き出している。その考えかたを実践したのが、波野村のお神楽の復元だった。ということだ。

葉―文化は外から持ってくるものだ、と考えている方が多い。でも私も小国に来て思いましたね。森を見て、木を生かさずして、建築家と言えない。脅迫感があり、本当に悩みました。今の最大の関心事は、みなさんに愛着を持ってもらえるかどうかわず。壊れるかどうか、という話もありますが（笑）、愛着を持ってもらえれば、残して下さると思う。

高瀬―小国には、林業が下り坂になっていても、自分たちで挽回してやろうという気力がある。

宮崎―力はあるのに、眠っている場合は多い。だから、活躍する意志と場を育て、実践しなければならぬ。それをやらないと、地域を本当の意味でか発にすることはできない。

私たちは小国に住み、豊かで楽しい町を自分たちで作っていく。そついつライフスタイルを追及していく。北里柴三郎博士が北里文庫を寄付したのは「みなさん、勉強しないと駄目ですよ。隣に2階建ての貴賓館を作ってくれたのは「町外の人と交流し、知識を開かなければ、小国は良くならないですよ。まさにその通りです。だから、「学びやの里」木魂館がある。

動きながら複眼を考える

高瀬―町長の中で、一連の建物にストーリーはあるのですか。

宮崎―国際演劇祭で知られる利賀村の中谷さんが言っていました。自分がやろうとしていて、多くの人に理解してもらおう努力も必要だ。しかし、その説明だけで多くのエネルギーを費やしてしまう。それではいざ出発、という時には、意欲もすっかり減退してしまっている。小国は「悠木の里づくり」のように、動きながら考える。シナリオは後からついてくるものです。最近、「悠木の里づくり、21世紀への道筋」として「小国ニューシナリオ」をまとめました。1986年の第一次シナリオの続編ですが、新しい発想を行動のための踏み台とするのが目的です。従って、どこから読んでも、どこから取り組んでもいいと書いてある。そして、「これにこだわらずに新しいものをダウンロード付け加えていって、場合によっては変えてもいい」と書いてある。そうなるのもうシナリオとは呼べないかもしれませんが（笑）。

葉―単純なリアルな動きではなく、複線化されている。木にしても木造だけでなく、舗道のブロックとか側溝のフタなども、いろいろ実験されている。それから、ジャージー牛乳、地熱利用どれも努力の最中。文化面でもそつで、小国出身の坂本善三氏的美術館学校のこともあるけど、彫刻家や音楽家の参加もある。小国は、いつも複眼なんですね。だから、町は様々なことに対応可能な状態になっている。

次回へ続く

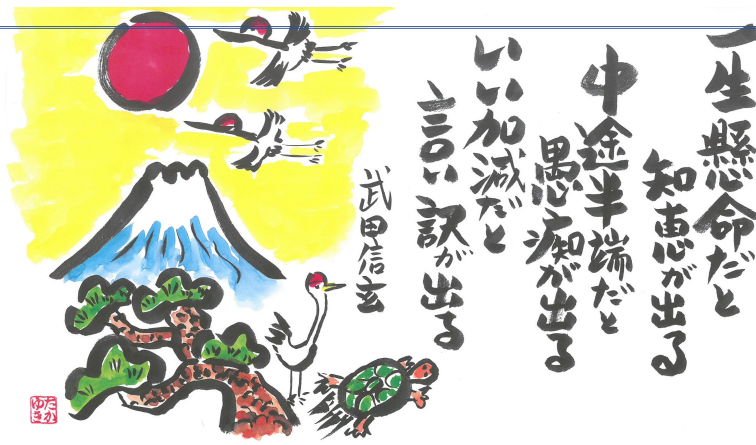
一九九一年一〇月一日発行

発行所（株）デルファイ研究所 取材 構成 一文

「木の文化」を創る人々熊本県小国の場合 高瀬隆三郎

二〇二一年十二月二二日

広葉の林を育てる会 興膳文治



	1月の活動予定表				2月の活動予定表						
日	8	15	22	29	5	5	8	12	19	26	
曜	土	土	土	土	土	土	火	土	土	土	
行事活動名	博多駅早朝清掃 第338回	JR酒殿駅早朝清掃 第13回	冷泉公園早朝清掃 第123回(再開)	令和を巡る早朝清掃 第25回	福岡空港ミリオン清掃 第44回	福岡実践人仁風読書会 62回	博多駅早朝清掃 第339回	JR酒殿駅早朝清掃 第14回	冷泉公園早朝清掃 第124回	令和を巡る早朝清掃 第26回	
場所	博多駅博多口	JR香椎線 酒殿駅北口	博多区冷泉公園	福岡県太宰府市 戒壇院	福岡空港 周辺一万m	大井中央公園	博多駅博多口	JR香椎線 酒殿駅北口	博多区冷泉公園	福岡県太宰府市 戒壇院	
開始時刻	6時15分	6時30分	6時30分	6時30分	6時	7時	6時15分	6時30分	6時30分	6時30分	
運営団体	福岡清爽クラブ	福岡清爽クラブ 楽農人耕作放棄地再生楽交	福岡清爽クラブ 株式会社SRC	福岡清爽クラブ	福岡清爽クラブ	福岡実践人	福岡清爽クラブ	福岡清爽クラブ 楽農人耕作放棄地再生楽交	福岡清爽クラブ 株式会社SRC	福岡清爽クラブ	

楽農人遊休農地再生楽交の活動予定は<https://www.rakunoujin.com/>を確認下さい。

編集人：井 恵

- ◇NPO法人福岡実践人 福岡清爽クラブ
- ◇一般社団法人 実践人の家 福岡仁風読書会
- ◇NPO法人 楽農人 耕作放棄地再生支援楽交

〈合同事務局〉 〒811-2247

福岡県糟屋郡志免町向ヶ丘2丁目4番3号 《仁風庵》  
 TEL 092-931-8155 (掃除) 931-8150 (読書) FAX 092-931-8120  
 E-mail fukusoukai@souji.link (掃除)  
 kesa@rakunoujin.com (農業)



「再生」に掲載している写真は、井恵が撮影・管理しています。必要な方は事務局までご連絡ください。